

2026 年 9 月 29 日

製品カーボンフットプリント算定ツール「CFP-TOMO®」が 第三者機関による妥当性確認声明書を取得

住友化学は、このたび、当社が開発した製品カーボンフットプリント (Carbon Footprint of Products、以下「CFP」) 算定ツール「CFP-TOMO®」について、国際的な第三者認証機関であるテュフズードから妥当性確認声明書を取得しました。



妥当性確認声明書授与の様子

写真左から：住友化学 常務執行役員 辻 純平、
テュフズードジャパン株式会社 代表取締役社長 アンドレア・コシヤ

本妥当性確認は、CFP-TOMO® (v3.2) における原材料の採掘から製品出荷までを対象とする「Cradle to Gate」の CFP 算定に関し、基本原則および定量化手法（算定ロジックを含む）の妥当性を第三者の立場から確認したものです。その結果、CFP-TOMO®の基本原則および定量化手法が、CFP の算定に関する国際規格 ISO 14067:2018、ライフサイクルアセスメントに関する国際規格 ISO 14040:2006 および ISO 14044:2006、ならびに一般社団法人日本化学工業協会の「化学産業における製品の CFP 算定ガイドライン」および Together for Sustainability (TfS) ※1 の「化学産業のための製品カーボンフットプリントガイドライン」の要求事項に適合していることが確認されました。

近年、カーボンニュートラル社会の実現に向け、サプライチェーン全体の温室効果ガス (GHG) 排出量の可視化や、信頼性・比較可能性のある CFP 情報の活用に対するニーズが高まっています。特に化学産業では、製造工程や原料・エネルギー・副生品の流れが複雑であることから、CFP 算定において適切な配分や計算処理が求められます。

今回の妥当性確認により、CFP-TOMO®を用いた CFP 算定が、国際規格および化学産業向けガイドラインに整合した考え方・計算方法に基づくものであることを、お客さまやサプライチェーンの関係者に説明できるようになり、CFP 算定プロセスに関する透明性の向上につながることを期待されます※2。

住友化学は今後も、CFP-TOMO®の普及を通じて、企業の CFP 算定・開示を支援するとともに、化学産業をはじめとするサプライチェーン全体の GHG 排出量の可視化、削減活動の促進、ならびにカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

※1 持続可能な化学品サプライチェーンの構築に向け、化学企業が主導する国際的なイニシアチブ

※2 本妥当性確認は、CFP-TOMO® (v3.2) の算定ロジック、基本原則および定量化手法を対象としたものであり、CFP-TOMO®を用いて算定される各製品の CFP を個別に検証・保証するものではありません。CFP 算定結果は、ツールの算定ロジックに加え、利用者が入力する活動量データ、採用する排出係数、算定対象・境界、配分方法その他の前提条件に依存します

<CFP-TOMO®について>

「CFP-TOMO®」は、住友化学が独自に開発した CFP 算定ツールであり、原材料の採掘から製品出荷までのライフサイクル段階を対象とする「Cradle to Gate」を基本的な算定範囲とし、主に化学産業を中心とする素材産業での利用を想定しています。

住友化学では、2021 年末までに当社全製品約 2 万品目の CFP 算定を完了し、お客さまへの情報提供を開始しました。また、CFP 算定の普及とサプライチェーンにおける GHG 排出量の可視化を目的に、CFP-TOMO®を広く他社に無償提供しています。自社およびグループ会社の取扱製品の CFP 算定を目的とする利用は無償とし、他社の CFP 算定を支援する事業など、用途に応じて有償での使用許諾にも対応しています。

CFP-TOMO®に関する詳細は、以下をご覧ください。

https://www.sumitomo-chem.co.jp/sustainability/information/cfp_tomo/

以上



コーポレートコミュニケーション部

〒103-6020 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー

TEL:03-5201-0220 Email: sumika-kouhou@ya.sumitomo-chem.co.jp



公式 YouTube